1，5－ジフェニルカルボノヒドラジド　【略】

ジメチルスルホキシド　$(CH_3)_2SO$　［K9702、特級］

臭化水素酸　【略】

【略】

フルデオキシグルコース　【略】

フルテメタモル　$C_{14}H_{11}FN_2OS$　黄色～帯黄褐色又は帯緑黄色の粉末である。ジメチルスルホキシドに溶けやすく、エタノール（99.5）に溶けにくく、アセトニトリルに極めて溶けにくく、水にはほとんど溶けない。

確認試験

赤外吸収スペクトル　本品につき、日本薬局方の一般試験法の赤外吸収スペクトル測定法のＡＴＲ法を準用して測定するとき、波数3370cm^{-1}、2930cm^{-1}、2890cm^{-1}、1153cm^{-1}及び1105cm^{-1}付近に吸収を認める。

純度試験

類縁物質　本品約2.5mgを精密に量り、ジメチルスルホキシドを加えて溶かし、正確に５mLとする。この液１mLを正確に量り、水／液体クロマトグラフィー用アセトニトリル混液（１：１）を加えて正確に10mLとし、試料溶液とする。試料溶液20μLにつき、次の条件で液体クロマトグラフィーにより試験を行う。試料溶液の各々のピーク面積を自動積分法により測定し、面積百分率法によりそれらの量を求めるとき、フルテメタモル以外のピークの合計量は5.0％以下である。

試験条件

検出器：紫外吸光光度計（測定波長：330nm）

カラム：内径4.6mm、長さ10cmのステンレス管に2.6μmの液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。

カラム温度：45℃付近の一定温度

移動相Ａ：ギ酸１mLに水を加えて正確に1000mLとする。

移動相Ｂ：ギ酸１mLに水200mLを加え、液体クロマトグラフィー用アセトニトリルを加えて正確に1000mLとする。

移動相の送液：移動相Ａ及び移動相Ｂの混合比を次のように変えて濃度勾配制御する。

注入後の時間（分）	移動相Ａ（vol％）	移動相Ｂ（vol％）
0～5.0	65	35
5.0～8.0	65→45	35→55
8.0～15.0	45→40	55→60
15.0～18.0	40→10	60→90
18.0～22.0	10	90

1，5－ジフェニルカルボノヒドラジド　【略】

【新設】

臭化水素酸　【略】

【略】

フルデオキシグルコース　【略】

【新設】